

OPEN SOUND DATA 京阪 1000/5000 系

操作説明書

2022/01/06

1. はじめに

京阪 5000 系は 1970 年に製造された 5 扉車で、京阪初の電気指令式発電併用ブレーキ装置 HRD-1D を採用されており、最高速度 110km/h で運転されます。

東洋電機製 TDK-8120A モーターの奏でる走行音は高音が効いた感じがあり、このプログラムでも再現しました。

京阪 1000 系は吊り掛け駆動車 700 系の車体を流用して 1977 年に製造されました。京阪 5000 系と同様の機器を装備して高性能化され、同じく HRD-1 電気指令式ブレーキ装置も採用されています。

京阪 5000 系のモーターと同系列である TDK-8120A 1 モーターの奏でる加速音サウンドは 5000 系よりも若干低音寄りなサウンドで、このプログラムでも再現しました。

音源は両型式とも 1989 年録音当時の抵抗制御時代で、当時の HRD-1D ブレーキ緩解音（現在は回生ブレーキ優先 HRDA-1）や、懐かしい始発駅発車メロディー（F14）なども収録しています。

2. 対応機種

ESU 社 LokSound V5, 5 micro

※LokSound 4、LokSound Select には使用できません。

3. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	パンタ上ゲ・MG・走行音・	
F2	警笛	
F3	－	
F4	－	
F5	非常制動	約 30%高減速度
F6	力行保ち/抑速	※後述する操作手順有り
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F9	－	
F10	フレンジ	
F11	手笛/ベル省略	※後述する操作手順有り
F12	開扉→手笛→閉扉	
F13	開扉→発車案内→閉扉	旧メロディー
F14	開扉→ベル→閉扉	
F15	CP 強制起動	

F16	電制切	
F17	フラット	
F18	ー	
F19	空気ばね	
F20	ブレーキスキール音 OFF	

4. 詳細な操作方法

4.1. F6 力行保ち/抑速

惰行中に F6 を ON してからスロットルを上げると力行保ち、スロットルを下げると抑速ブレーキになります

4.2. F11 強制閉扉

ドア開閉音操作の時に手笛を省略する為に使います。

4.3. F12 ドア開閉音

F12, ドア開閉音操作は走行中に ON にしておけば停止と同時にドア開き音が出ます。

ドア開き停車中ではスロットルを上げても起動しないようになっています。

ドア開き停車中に予めスロットルを上げておけばドア閉め後に自動的に起動を開始します。

5. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

- ・MB3110A
- ・うえだねじろう

OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



以上